

健康経営

実践企業に学ぶ

10



本多浩治
取締役常務
執行役員

南都銀行（奈良市）は、経済産業省が制度設計した「健康経営優良法人」の大規模法人部門に、2019年から7年連続で認定されている。さらに、2024年2月には、健康経営が地域の中小企業に普及するよう後押しするため、協会けんぽ（全国健康保険協会）奈良支部と連携協定を締結。従業員の健康づくりを支援する企業向けに、多

南都銀行



多くの企業へ健康経営の取り組みを勧める

「健康宣言」勧め地元企業後押し

様な取り組みを進めている。その中心は、協会けんぽが展開する「職場まるごと健康宣言」だ。まず企業が健康づくりに取り組むことを宣言し、そのことを社内外に発信

共同で作成した「健康宣言の証」を交付する。窓口や受付にこれを掲示してもらうことで、来客・来訪者に取り組みをアピールできるので、企業のイメージアップが期待でき

同行では営業担当者が企業を訪問する際、健康宣言の概要や意義を説明している。日常の業務を通じ、各企業が健康経営に関心を持つ第一歩になるよう心掛けている。

・周知してもらう。健康宣言を実施した企業には、同行と協会けんぽが

宣言を実施した企業には、健康経営に持続的に取り組むための支援として、生活習慣病の予防や健康診断データの活用方法など実践的なアドバイスも提供する。

同行の本多常務は「協会けんぽとの連携を強化し、従業員の活力を高める職場づくりを支援している。人口減少が進むなか、地域のお客さまの企業価値向上と人的資本経営の推進に貢献していきたい」と意気込む。



協会けんぽと共同で作成した「健康宣言の証」

また、同行は独自の取り組みとして、健康経営に積極的に取り組む企業などを対象にした「ヘナント／SDGsサポーターローン」などの商品も取り揃えている。健康経営を金融面から支援すると同時に、従業員の能力を引き出して企業の価値を高めていく「人的資本経営」の実践を後押ししている点が大きな特徴になっている。